**日中関係学会　中国ビジネス事情研究会開催のご案内**

**「デジタル中国企業の強さと弱さ :  中国先進企業の経営変革からの示唆 」**

以下の要領でZOOMによるオンライン研究会を開催いたします。

参加ご希望の方は末尾に記載のGoogleフォームにてお申込みください。

　記  
日　時：2023年3月9日　18：30～20：00  
テーマ：「デジタル中国企業の強さと弱さ :  中国先進企業の経営変革からの示唆 」  
講　師：岡野寿彦　NTTデータ経営研究所　シニアスペシャリスト  
　　　（中国ビジネス事情研究会　幹事メンバー）

既に会員の皆様にはメールで今回の講師である岡野さんの近著  
『中国的経営イン・デジタル：中国企業の強さと弱さ』（日本経済新聞出版）のご紹介をさせて頂いておりますが、今回はこの書籍の内容を踏まえて、中国先進企業の経営変革/ＤＸの推進状況や中国的経営の強さと弱さなどについて日本企業と比較しつつ、その分析内容を解説頂きます。  
また、直面する米中間の競争で、日本企業はどう取り組んでいくべきか、その「戦略的不可欠性」を築くかの提言を頂きます。  
岡野さんはこの間、企業経営者や政府幹部など地道なヒアリングを続けられており、今回は書籍の中身を先取りさせて頂くようですが、ぜひこの機会にみなさんとの意見交換の場としたいと思います。

ご参考  
　筆者の近著『中国的経営イン・デジタル：中国企業の強さと弱さ』の内容  
【目次】  
序章　中国的経営とは？：「権威主義的マネジメント」と「プラットフォーム志向」  
［第１部］権威主義的マネジメントの「強さ」と「弱さ」：  
第１章　中国的経営1.0：伝統的な中国的経営の特徴  
第２章　国家と企業イン・デジタル：プラットフォーマー規制から読み解く国家レベルの「権威主義的マネジメント」  
［第２部］中国企業の経営変革イン・デジタル：中国的経営2.0  
第３章　ファーウェイに見る中国的経営の変革：生き残るための連続的変革  
第４章　中国製造の「強さ」と「弱さ」： 小米「IoTプラットフォーム」のビジネスモデル  
第５章　中国プラットフォーマーの戦略転換：アリババ・プラットフォームの進化を支えるマネジメント  
第６章　中国企業の変革と「両利きの経営」：デジタル化時代に求められる経営  
［第３部］日本企業への提言：戦略的不可欠性をつくる  
第７章　日本的経営イン・デジタル：日本企業はどう強みを活かせるのか  
  
【本書が答える「問い」】  
(1) 中国的経営のエッセンスと日本的経営のエッセンスとでは、組織構造、組織運営、リーダーシップなど主要な経営項目についてどのような違いがあるのか？  
(2) デジタル化の進化プロセスを俯瞰的にとらえたうえで、(1)で分析した中国的経営と日本的経営エッセンスは、どのような「強さ」と「弱さ」の源泉となるのか？  
(3) 権威主義的な体制・マネジメントの下でイノベーションは生まれるのか？  
－　中国政府によるプラットフォーマー規制強化の要因・背景は何か？　イノベーションの創出や企業経営にどのようなインパクトがあるのか？  
(4) 中国企業のプラットフォーム戦略は、日本企業が強みを持つ製造業など伝統的業界にどのようなインパクトをおよぼすのか？  
(5) デジタル化が深化するなかで、中国企業はどのような経営課題に直面し、いかなる経営変革に取り組んでいるのか？  
－　中国企業の経営変革において、中国的経営の「強さ」をどのように活かし、「弱さ」を克服しているのか？  
(6) 日本企業が中国企業や米国企業に対する『戦略的不可欠性』を獲得するために、「摺り合わせ」、「現場力」などつくってきた「強み」をどのように活かせるのか？  
(7) 日本企業に中国企業と競争・提携していくうえで何が欠けているのか？

 お申込みは以下のリンクからGoogleフォームにご記入ください。

<https://forms.gle/wUrW1F76ENSrHX4B6>

 中国等Googleへのアクセスができない場合は、担当中島まで以下の事項をメールでお送りください。

　①氏名　②よみがな　③ご所属または元職　④会員（支部名も）、非会員の別　⑤メールアドレス（必須）、⑥電話（任意、メール不達等万一連絡がつかない場合等に事務局で使用）

　宛先　[shun.nakajima@gmail.com](mailto:shun.nakajima@gmail.com)